

## 第1号議案

# 令和4年度 事業実績報告書

### (要旨)

令和4年度は、前年度から引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により制限・制約の多い1年でありましたが、会員各位の協力のもと、可能な限り事業計画に定めた産業廃棄物の適正処理を通して生活環境の保全、資源循環型社会の形成に寄与するような各種の事業を進めることができました。

会員各位のご協力、ご支援に対しまして厚く御礼申し上げますとともに、次のとおり事業の実施状況を報告いたします。

## I 継続事業

### 1 産業廃棄物の処理及び再生利用に係る相談、指導及び資源の循環的な利用促進事業

#### (1) みやざきリサイクル製品認定制度運営業務

知事認定に移行して4年目となるこの業務では、県の委託を受け、一定の基準を満たした廃棄物を再利用して製造されたリサイクル製品を広く一般事業者から募集し、産業廃棄物リサイクル推進事業審査委員会の審査を経て認定が行われた。

認定製品については、協会のホームページに掲載したほか、製品紹介のリーフレット等を作成し、広く県民一般に製品情報を提供した。

##### ① 募集要領、基準書等の作成

ア 「みやざきリサイクル製品認定制度の手引き」作成

イ 「みやざきリサイクル認定製品募集のお知らせ」(チラシ)作成

ウ 協会ホームページに制度の概要、募集内容、手引き、申請様式等を掲載

##### ② リサイクル製品の募集

ア 申請受付期間

令和4年7月19日(火)～8月26日(金)

イ 募集品目

◇土木建築資材 ◇農業用資材 ◇有機系土木・園芸資材 ◇燃料資材 ◇家庭・一般事務用品 の5品目

ウ 申請窓口

一般社団法人宮崎県産業資源循環協会

##### ③ 認定製品の普及促進

ア 製品紹介パンフレットの作成

イ 製品紹介パネルの作成

ウ 協会ホームページへの掲載

エ 「第29回みやざきテクノフェア」への出展

期 間 令和4年11月18日(金)～19日(土)

場 所 宮崎県体育館

出展製品 再生プレキャストコンクリート製品、瓦チップ、再生クラッシャーラン(RC40)、大淀再生砕石(OK砕石)、再生珪砂(ボトムアッシュ100%)、みやエネ100(バイオディーゼル燃料)

出展企業 原田建設(株)、大淀開発(株)、(株)宮崎環境開発センター、(株)宮崎森林発電所、九州中川ヒューム管工業(株)

#### ④ フォローアップ調査の実施

11月から1月にかけて、認定製品の安全性確認のためフォローアップ調査実施

## 2 不法投棄及び不適正処理の防止に関する事業

### (1) 不法投棄防止啓発キャンペーン

環境省では、10月を「3R推進月間」として、関係8府省とともに環境省関連事業を展開しており、これまでの9月24日から10月1日に実施していた「環境衛生週間」から、令和4年度からは「3R推進月間」にあわせて、行政機関や警察などと連携しながら、活発に活動していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、前年に引き続きキャンペーン内容を大幅に縮小し、当日は車両での広報活動や、密を避けた清掃活動を行い、期間中は会員事業所の車両に横幕を掲出して啓発を行った。

支部名	実施日	実施内容	参加者数
県央	10/18	啓発パレード、清掃活動、通常の収集作業時にチラシ等配布	80名
県南	10/26	啓発パレード、収集運搬車両へのステッカー貼付、啓発広報街頭キャンペーン	19名
県西	10/18	啓発パレード、清掃活動、収集運搬車両へのステッカー貼付	38名
県北	新型コロナウイルス感染拡大により、保健所と協議して中止		
			計137名

### (2) 全国ごみ監視ウイーク

5月30日（ゴミゼロの日）から6月5日（環境の日）まで展開される「全国ごみ不法投棄監視ウイーク」の行事に参加し、一般市民や事業者、行政機関等と一体となって不法投棄廃棄物の撤去や啓発活動を行った。

### (3) クリーンアップ宮崎参加事業

11月13日（日）に実施された県民総ぐるみの環境美化活動「クリーンアップ宮崎」に参加し、ごみや不法投棄廃棄物の撤去作業を地域住民、関係行政機関と共同で実施した。

### (4) 地域生活環境回復支援事業

保健所から情報提供のあった投棄者不明等の産業廃棄物を処理する事業で、今年度は小林市内に長期にわたって放置されている廃タイヤ約40トンを処分した。

## II その他事業

### 1 会員相互の連帯協調及び業界秩序確立のために必要な事業

#### (1) 表彰事業

例年、通常総会場で功績顕著な個人、事業所の表彰を行っており、コロナ対策により通常総会出席者は最少人数で開催し、少人数の中で会員企業や従事者の表彰を行った。

- ◇ 総会日時 令和4年6月21日(火)
- ◇ 場所 ホテルニューウェルシティ宮崎
- ◇ 被表彰者 功労者2名、優良事業所3社、優良従事者3名

#### (2) 後継者育成事業

コロナ禍で思うような事業展開が図れなかったが、産業廃棄物業界にとって、SDGsや政府が主導する2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」への取組、また、業界の後継者や若手従業員の育成が、極めて重要・不可欠な課題であること

から、青年部役員会においては、若い後継者が増えてきていることも踏まえ、若い人の感覚を取り入れ、お互いが協力して業界の健全発展するための方策等について協議・検討を行った。

### (3) 環境自主行動計画の実施

(公社)全国産業資源循環連合会(以下「全産連」という。)が策定した「低炭素社会実行計画」に基づき、温室効果ガス排出量の削減等を目指して、計画の周知・普及啓発、会員企業を対象として省エネ対策等の取組事例、温室効果ガス排出量削減ツール等の情報提供を行い、企業ができるところから取り組んだ。

また、CSRプロジェクト(企業の社会的責任)として、7月13日(水)に宮崎港東埠頭において、全産連青年部協議会九州ブロック一斉清掃に呼応した清掃活動を青年部と県央支部会員を中心に47社68名が参加して実施した。

### (4) 各種情報の提供

国からの法・政省令改正情報、宮崎県からの通知、各種報告書の内容、全産連の理事会、各専門部会の議事録等を収集し、協会ホームページ、メール、FAX等により情報提供した。

また、年度途中での会員への情報提供として、電子データによる配信を行ったほか、会報「おおよど35号」を400部作成し、会員や県、市町村、関係機関(排出事業者団体等)、各県産業資源循環協会等に配布した。この中で、協会の取り組み状況や行政ニュース、会員一覧等を掲載し、会員や関係行政機関、排出事業者等の利便に供した。

### (5) 産業廃棄物処理業務に係る火災等事故防止研修会の開催

近年、リチウムイオン電池や使い捨てライター、ガスボンベ等による発火事故が全国的に増えている状況にあり、排出事業者及び処理業者講習会の講師である渡辺氏による講義、消防機関からの情報提供、会員企業2社が取り組んでいる事例の発表を行った。

令和5年3月7日(火)に県庁7号館3階の会議室において、協会会員19名、消防機関8名及び宮崎市担当者の参加を得て、事故発生事例や処理業者の対策の方向性等情報提供があり、継続した研修開催の要望もあり、次年度に向けての手応えが感じられた。

### (6) 調査研究事業

#### ① 意見交換会

- ・第26回宮崎県、宮崎市との意見交換会

令和4年12月16日(金)に県庁7号館3階の会議室で行った。

議題: 1)協会と警察、県及び宮崎市との連携による路上の車両調査について

2)収集運搬業務に従事する作業員をウイルス(新型コロナ・インフルエンザ)から守るウイルス除去装置をパッカー車に登載するための支援について

3)「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」に係る勉強会と今後の対応について

4)県外産業廃棄物の搬入規制に関する指導要綱について

#### ② 先進地視察(島根・鳥取県)

産業廃棄物処理業の現状について見聞を広め、今後の事業展開に活かしていくために、11月24日(木)から26日(土)にかけ、島根県、鳥取県に工場を置く三光(株)の焼却施設、リサイクル施設、バイオマス工場などを見学し、排熱利用の発電やキジハタの陸上養殖など地域に根付いた活動をされており、今後の事業展開に大いに参考となった。

③ 愛の血液助け合い運動

協賛して12年目となる「愛の血液助け合い運動月間」(7月)では、7月1日に県赤十字血液センターで出発式を行い、月間中は収集運搬部会会員の車両(約200台)に横幕を掲出し、県民への献血に対する理解と協力の啓発活動を行った。

また、新型コロナの影響で献血協力者が大幅に減少している状況があり、特に期間中における協会会員の献血協力を促した。

(7) 支部総会及び実務研修会

通常、各支部総会では支部会員に出席いただき、総会と研修会を開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、定款第44条第3項に基づく理事会承認により、支部総会に代えて書面採決を行った。

(8) 全産連、九地協主催の会議等への参加

例年、上記団体が開催する全国会議に延べ16回、九州ブロック会議に延べ26回出席し、産業廃棄物の適正処理に係る課題について、協議・検討を行っていたが、3年度に引き続き、新型コロナ感染拡大防止のため、以下の状況であった。

- ◇全産連第11回通常総会 現地開催
- ◇産業廃棄物と環境を考える全国大会 中止
- ◇全産連新年賀詞交換会 ・◇臨時全国正会員理事長・会長会議 web
- ◇全産連青年部協議会幹事会等 原則 web
- ◇全国正会員事務局責任者会議 web
- ◇九地協会長会議 現地開催
- ◇九地協事務局長会議 現地開催
- ◇九地協の各部会 ハイブリッド開催又は現地開催

(9) 優良産廃処理業者認定制度への取り組み

優良産廃処理業者認定推進委員会を5回開催して、堅実な事業展開を図った。希望する事業者には財務体質改善アドバイザーや情報開示改善アドバイザーの派遣を行い、「エコアクション21」取得セミナーを開催したほか、ステッカーやチラシ、ポスター、のぼりを作成して関係者に配布した。また、協会ホームページに、優良認定産廃処理業者を利用されている排出事業者のインタビュー記事を掲載した。

令和5年3月末で、県及び宮崎市認定の県内優良産廃処理業者は17社となっている。

(10) 組織の拡大強化、コンプライアンス向上の普及啓発

県の各保健所及び宮崎市役所において、新規や更新の許可申請時に「入会のメリット」のチラシ配布とともに入会促進を業者に対して説明してもらうように依頼した。令和4年度の会員の入退会状況は、次のとおり。

区分	年度当初	入会	退会	年度末
正会員	205	2	4	203
賛助会員	8	0	0	8
合計	213	2	4	211

(11) 暴力団等反社会的勢力の排除

「暴力団等反社会的勢力排除宣言文」を会員事業所に掲出し、来客や社員に対して意識の高揚を図った。

## 2 産業廃棄物の適正処理に関する全産連等からの受託事業

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（以下「JWセンター」という。）が主催する許可申請に関する講習会及び特別管理産業廃棄物管理責任者講習会について、新型コロナウイルス感染防止の観点から、臨時的対応として県外への移動が抑制されていることもあり、全国的に県内の受講者を対象に JW センターへの web 申込みとオンライン講義、当該域内での3密を避けた会場試験が実施された。

### (1) 産業廃棄物許可講習会協力事業

#### ① 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物許可申請に関する試験

日 時：令和4年8月9日（火）、9月13日（火）～14日（水）

9：30～16：00

場 所：ニューウェルシティ宮崎

課 程	日 程	実施試験数	受講者数
新規産収	9月13日	1回	46名
新規産処	—	—	—
更新収集	8月9日、9月14日	2回	128名
更新処分	8月9日、9月14日	2回	67名
特 責	9月13日	1回	73名
			計 314名

### (2) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）頒布協力事業

#### ① 紙マニフェスト頒布事業

廃棄物処理法で義務づけられている産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、全産連及び建設六団体副産物対策協議会から受託し、販売した

種 類	頒布数（セット）		
	4年度	3年度	増減
産業廃棄物マニフェスト（発行：公益社団法人 全国産業資源循環連合会）	156,800	155,200	1,600
建設系マニフェスト （発行：建設六団体副産物対策協議会）	72,900	77,300	△4,400

#### ② 電子マニフェストの普及啓発、加入促進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電子マニフェスト移行促進のための導入実務研修会の実施は見送られたが、電子マニフェストの電子化率は5年3月末時点で77.1%となっている。

## 3 産業廃棄物の適正な処理及び再生利用に関する宮崎県、宮崎市からの受託講習会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、各講習会会場とも定員数を削減し、消毒や検温をしながらの開催となった。

### (1) 産業廃棄物排出事業者講習会

県内8保健所管轄区域毎の8会場で開催し、産業廃棄物の排出事業者として守るべき基本的な事項について理解を深めてもらうため、パワーポイントを活用した講義形式による研修を行い、受講者には修了証を授与した。

地区	開催日	会場	受講者数
宮崎	令和4年10月5日(水)	J A・AZMホール	167名
都城	令和4年10月7日(金)	都城市ウェルネス交流プラザ	32名
延岡	令和4年10月11日(火)	延岡市社会教育センター	33名
日向	令和4年10月28日(金)	日向保健所	21名
小林	令和4年11月8日(火)	小林保健所	14名
高鍋	令和4年11月10日(木)	高鍋保健所	28名
日南	令和4年11月14日(月)	日南保健所	15名
高千穂	令和4年11月16日(水)	高千穂保健所	34名
◇講師：全産連専任講師 村田弘氏、渡辺一法氏			計344名

- ◇内容：産業廃棄物の処理に関する基本的事項  
委託契約書の締結、マニフェスト制度、廃棄物処理法の罰則、  
リチウムイオン電池の危険性等
- ※ 県循環社会推進課及び警察担当から、不法投棄に関する講義

(2) 産業廃棄物処理業者講習会

県内3会場において、産業廃棄物の適正処理を推進するための基本的事項を学ぶ研修会をパワーポイントを活用して開催し、受講者には修了証を授与した。

地区	開催日	会場	受講者数
宮崎	令和4年10月19日(水)	J A・AZMホール	63名
延岡	令和4年10月12日(水)	延岡市社会教育センター	28名
都城	令和4年10月26日(水)	都城市ウェルネス交流プラザ	38名
◇講師：全産連専任講師 村田弘氏、渡辺一法氏			計129名

- ◇内容：産業廃棄物処理に関する基本的事項、産業廃棄物処理法の概要  
リチウムイオン電池の危険性、農業用廃プラ等
- ※ 県循環社会推進課及び警察担当から、不法投棄に関する講義

(3) 電子マニフェスト操作説明会

JWセンターが進める電子マニフェストシステム(JWNET)の導入促進のための操作説明会を3回開催した。

地区	開催日	会場	受講者数
都城	令和4年10月24日(月)	都城市職業訓練センター	22名
宮崎	令和4年12月7日(水)	宮崎ソフトウェアセンター	21名
	令和4年12月14日(水)	〃	18名
◇講師：JWセンター インストラクタ 山下 栄氏			計61名

(4) 産業廃棄物処理業者中堅リーダー育成支援事業

県内産廃業者の資質向上を目的として、宮崎県の委託を受けた事業で、コロナ感染拡大防止のため、講習会等の中止や延期が行われる中、全産連等が主催する産業廃棄物処理施設技術管理者講習会等を産廃業者従業員が受講した。

- ◇ 実務者研修会(オンライン) 4社(23名)

◇ 技術管理者講習会（オンライン）	1社（1名）
◇ 技術管理者講習会	9社（9名）
	計 14社（33名）

#### 4 産業廃棄物の適正な処理を図るための排出事業者に対する協力要請に関する事業

##### (1) ホームページによる情報発信事業

本協会の事業活動について、最新の情報を提供するとともに、産業廃棄物の処理に関する行政からの通知等を発信できるよう運用に努めた。

また、産業廃棄物を適正に処理できる会員業者を一般の排出事業者や県民が容易に確認できる「会員リスト」をホームページに掲出し、会員業者の受注拡大に努めた。

##### (2) 適正処理に関する各種情報の提供

排出事業者、処理業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する問い合わせ、相談に対して、適切な指導・助言を行い、必要に応じて会員の中から専門の処理業者を紹介した。

また、県民からの廃棄物処理等に関する疑義・照会に対して、関係機関や行政に確認した上で、収集した情報を整理し、回答や資料の提供を行った。

さらに、排出事業者を対象とした各種講習会の開催情報を提供した。

##### (3) 労働安全衛生（リスクアセスメント）の取り組み

関係機関からの労働安全衛生に係る法令改正情報や周知依頼項目等を会員に提供した。

##### (4) 災害廃棄物の処理体制の構築等

台風や地震、線状降水帯による水害等、国内各地で例年のように自然災害が発生しており、本県でも令和4年9月には台風14号による被害が各所で発生した。また、今後、「南海トラフ巨大地震」の発生が危惧されているところである。

平成21年1月に宮崎県と災害廃棄物処理協定を締結して以降、令和4年7月で県内全市町村との協定締結が完了した。今後は、県内全市町村の担当職員と協会会員が顔の見える関係を構築し、仮置場選定や運営要領等災害廃棄物処理マニュアルの整備、仮置場運営訓練等災害発生時の対応についての意見交換や協議をさらに進める必要がある。

### III 管理事業

#### 1 会議の開催

##### (1) 第10回通常総会

日 時：令和4年6月21日（火）

場 所：ホテルニューウェルシティ宮崎（宮崎市）

出席会員数：168社（本人出席29社、委任状出席139社）

※ 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会を中止し、3密回避のため、出席人数を極力減らしての開催とした。

##### 議 案

第1号議案 令和3年度事業実績報告に関する件

第2号議案 令和3年度収支決算報告に関する件

令和3年度監査報告

第3号議案 令和4年度事業計画（案）に関する件

第4号議案 令和4年度収支予算（案）に関する件

第5号議案 任期満了に伴う役員（理事・監事）の改選（案）に関する件

以上5議案について、原案どおり承認された。

(2) 理事会

年6回の理事会と臨時理事会を2回開催し、事業計画に基づく事項等の執行について、審議・承認された。また、時々の協会の業務執行、運営状況等について報告がなされた。

開催月等	主 な 議 題
第1回 5月17日(木)	1 第10回通常総会について 2 令和3年度事業実績報告について 3 令和3年度収支決算及び監査報告について 4 令和4年度事業計画(案)について 5 令和4年度収支予算(案)について 6 令和4年度協会長被表彰者の決定について 7 役員改選について 8 その他 報告事項
臨時理事会 6月21日(火)	1 会長、副会長の選任について 2 田村前会長の顧問就任について
第2回 7月6日(火)	1 委員会・部会の委員選任及び事業計画について 2 九州地域協議会における協議事項等について 3 不法投棄防止啓発キャンペーン実施計画について 4 政治連盟等の対応について 5 県産連各団体の課題と意見・要望等の提出について 6 産業廃棄物税の使途事業について 7 宮崎県補助・委託事業について 8 その他 報告事項
第3回 9月8日(木)	1 環境衛生週間の「3R推進月間」統合における対応について 2 不法投棄防止啓発キャンペーンについて 3 入会の承認、退会者の報告について 4 政治連盟設立等の手順(案)について 5 役員旅費規程改正(案)について 6 委員会・部会活動報告等について 7 県・宮崎市との意見交換会提案議題等について 8 県外廃棄物の県内搬入処理に関する指導要綱の一部改正について 9 その他 報告事項
第4回 11月7日(月)	1 県・宮崎市との意見交換会提案議題等について 2 先進処理施設視察研修について 3 台風14号に係る災害廃棄物処理支援事業について 4 今後の災害廃棄物処理支援体制について 5 委員会規程・部会規程について 6 委員会・部会活動等報告について 7 会報「おおよど」35号編集等について 8 みやざきリサイクル製品認定について 9 「エコアクション21セミナー」について 10 報告事項
臨時理事会 12月16日(金)	1 台風14号災害廃棄物処理支援に係る予算科目等の変更について 2 その他



第5回 1月17日(火)	1 全産連会長表彰 被表彰者の推薦について 2 協会長表彰 被表彰者の推薦について 3 支部活動助成金等について 4 台風14号に係る災害廃棄物支援事業報告等について 5 委員会・部会活動報告について 6 地域生活環境回復支援事業について 7 県外産業廃棄物の搬入規制に関する特別委員会の設置について 8 その他 報告事項
第6回 3月24日(金)	1 協会組織強化のための専務理事の設置及び事務局長の任免について 2 令和5年度支部事業計画(案)について 3 令和5年度県協会事業計画(案)について 4 令和5年度県協会予算(案)について 5 台風14号に係る災害廃棄物支援事業報告等について 6 委員会・部会報告について 7 地域生活環境回復支援事業について 8 優良産廃処理認定事業について 9 災害時緊急連絡網について 10 新規入会者の承認について 11 その他 報告事項

### (3) 委員会、部会

#### ① 三役支部長会

委員会・部会のメンバー構成、政治連盟・寄付金の扱い、3R推進月間への対応、県外産業廃棄物の県内搬入等理事会等で協議する事項について、事前に三役支部長で協議し、意見調整を行った。

#### ② 総務・企画委員会

協会長被表彰者、役員改選、優良認定取得推進事業、産業廃棄物税の使途事業、県・宮崎市との意見交換会等について、協議・検討を行った。

#### ③ 適正処理委員会

先進処理施設視察研修、災害廃棄物処理にかかる資機材調査、市町村との災害時における復旧支援体制整備、宮崎大学との「高等教育コンソーシアム宮崎」公募型卒業研究等について協議・検討を行った。

#### ④ 会報編集委員会

年度途中での会員への情報提供として、電子媒体による活動報告を行い、また、1月に会報「おおよど」35号を400部印刷、会員及び各団体へ発送した。

#### ⑤ 優良産廃処理業者認定推進委員会

優良認定推進事業の広報活動、認定業者用PRステッカー、ポスター、チラシ作成・配布、HP上での優良産廃処理業者認定事業者及び優良産廃処理業者を活用する排出事業者の紹介やエコアクション2.1導入セミナーを開催した。

#### ⑥ 収集運搬部会

新車納入遅延に対する現有車両の管理、2024年ドライバー等の働き方改革、運搬容器の維持管理、今後の収集運搬部会の方向性等について協議した。

#### ⑦ 中間処理部会

九地協中間処理部会の活動報告、災害廃棄物処理対応等について、意見交換・情報の共有を図った。

⑧ 最終処分部会

九地協部会では、税制改正の要望として、産業廃棄物最終処分場に係る特定災害防止準備金の措置の延長、カーボンプライシングの検討を含む地球温暖化対策の実施を求めるなど、情報交換を行った。

⑨ 建設廃棄物部会

九地協部会では、各県からの議題や全産連関連の報告、建設産業専門団体九州地区連合会からの情報提供や意見交換を行った。

⑩ 医療廃棄物部会

新型コロナウイルス感染性廃棄物の取扱いや九州地域協議会医療部会共同宣言、各県における提案議題、産業廃棄物税への対応等について意見交換を行った。

⑪ 青年部会

任期満了に伴う役員改選、九州ブロック会議等での情報や意見を踏まえ、安全衛生規程の普及や全産連青年部協議会第12回全国大会九州大会（沖縄県）についての意見交換、海岸ボランティア支援事業等を行った。

## 2 事務局の運営

事務局長ほか2名で、協会で実施する各種事業の企画・立案、準備・運営等の業務のほか、産業廃棄物処理業者や排出事業者の相談窓口として、産業廃棄物に携わる関係団体、企業からの相談、一般県民からの問い合わせ等に対応した。また、従来より事務所が狭隘であったことから、令和5年2月に事務所を県庁7号館3階の県循環社会推進課に隣接する場所に移転した。